

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年5月15日
明治大学の所属学部・研究科	法学部/法律学科/国際関係法コース（学部/学科/研究科/専攻等）
留学（渡航）した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年5月14日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	サザンイリノイ大学カーボンデール校（日本語名） Southern Illinois University Carbondale（現地言語名）
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年8月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）： （現地言語での名称）：  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他：
学年暦 記入例：1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期：8月中旬～12月中旬      2学期：1月中旬～5月中旬 3学期：      ～                      4学期：      ～
学生数	8100名
創立年	1869年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$ドル)	日本円	備考
授業料		円	交換留学のため明治大学法学部の学費
宿舍費	\$ 4050	567,000 円	以降 1 \$ = 140 円で計算
食費	\$ 900	126,000 円	
図書費		円	
学用品費	\$ 500	70,000 円	
携帯・インターネット費		100,000 円	
現地交通費		円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		500,000 円	旅行
被服費	\$ 200	28,000 円	
医療費		円	
保険費	\$ 1091 × 2 学期分	①108,000 ②305,480 円	形態：①明治大学所定のもの ②留学先規定のもの
渡航旅費		300,000 円	
ビザ申請費		50,000 円	
雑費		30,000 円	
その他	\$ 1440 × 2 学期分	403,200 円	General fee (授業料とは別枠)
その他		円	
合計		2,587,680 円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地：羽田 目的地：セントルイス 経由地：デトロイト	
復路 出発地：セントルイス 目的地：羽田 経由地：シカゴ オヘア	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：デルタ 料金：16万 復路 航空会社：JAL 料金：14万 ∴合計：30万	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店 (店名： )	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット (サイト名：スカイチケット)	
<input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例: アパート、大学の宿舎など)

 学生寮 (寮の名前: )  アパート  ホームステイ

2) 部屋の形態

 個室  相部屋 (同居人数 )

3) 共有部分

 バス  トイレ  キッチン ( 自炊可  自炊不可)

4) 住居を探した方法:

アドバイザーの意向

5) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

たくさんの人と交流を深められる上に、一人部屋なので快適。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

 なし  
 あり (治療を受けた場所: 学内の診療場所でコロナ検査陽性と発覚 )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

 なし  
 あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

以前から住んでいる友人に聞いた。夜暗くなってからは極力外出を控えた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

wifiはアパートにあり、追加料金の必要はない。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。)

銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

銀行口座を開設し、一気にお金を送金し、ドルで支払いを行っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

文房具

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:
English Composition for ESL I&II（秋春で）		留学生のための英作文 英語構成
科目設置学部・研究科	Linguistic	
履修期間	春 秋学期	
単位数	各3単位	
本学での単位認定状況	1 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	講義型（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	TA Adiba, Claudia	
授業内容	英語のライティング	
試験・課題など	試験はない代わりに、エッセイの課題が学期を通して5回ほどある。	
感想を自由記入	留学生向けの授業のため、基本のエッセイの書き方等を学ぶことができたのでよかった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）:		履修した授業科目名（日本語）:
Intro Gender & Society		ジェンダーと社会 入門
科目設置学部・研究科	Women, Gender and Sexuality Studies	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）	
授業形態	オンデマンド形式（チュートリアル、講義形式等）	
授業時間数	1週間に 分が 回	
担当教授	Joy Ofuokwu	
授業内容	ジェンダーと社会の関わりについて、さまざまな文献から読み解く	
試験・課題など	毎週スライド、リーディング約3本、クイズ、エッセイ、ディスカッションボードへの書き込みが課される。	
感想を自由記入	オンデマンド授業であったため、すべて自分で進めないといけないことが大変だった。この授業への勉強時間が明らかに他と比べて多かった。	

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Intimate relationship and development	親密な関係性とその発展
科目設置学部・研究科	Women, Gender and Sexuality Studies
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義型+ディスカッション（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Amy Tallman
授業内容	家族や恋人など、親しい人間関係における問題や傾向を教科書に乗っ取りあらゆる研究結果から学び、最終的には自分自身にそれらを反映させ振り返る。
試験・課題など	試験が5回、オンラインベースで行われた。2回ほどライティングの課題があった。
感想を自由記入	先生がとても気さくで自身の体験をよく話してくださるため、授業内容に現実味があって興味深い。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Politics of Diversity in the United States	アメリカにおける多様性の政治
科目設置学部・研究科	Political science
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義+ディスカッション形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Brittany Leach
授業内容	人種、性別、先住民、セクシュアルマイノリティ、とう多様性において、アメリカがどのような政策を行ってきたのか、行っているのか。さらには、あらゆる考え方（学者の）を元に、自分がどう考えるのかを考える。
試験・課題など	エッセイ課題が一度。discussion leader（授業内容を自分なりにまとめ、ディスカッション内容を考えてる役割）を一度。試験は、中間と期末試験で、エッセイ形式。
感想を自由記入	授業内容自体は難しいものの、興味深かった。アメリカならではの人種の問題、さらに、日本では行われていないジェンダー平等のための積極的な取り組み等を学ぶことができた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Interpersonal Communication	対人のコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Dr. Todd Graham
授業内容	個人と個人間におけるコミュニケーションの問題。解決方法。
試験・課題など	試験はない。毎週アクションペーパーを最低2枚の長さで提出。毎授業クイズがある。
感想を自由記入	授業内容はとても興味深い。日本ではあまり授業としてピックアップされないようなコミュニケーションを学べる。教授はとても早口なので、一学期目に履修すると圧倒されてしまうかもしれない。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Small Group Communication	スモールグループでのコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Communication studies
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義形式+ディスカッション+アクティビティ（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Shelly
授業内容	スモールグループとは何であるのか。どのようにコミュニケーションを取るべきなのか。それらをディスカッション、アクティビティをとおして学ぶ。
試験・課題など	試験は5回、オンラインベース。グループ課題が5回。
感想を自由記入	先生と生徒の距離がとても近く、アクティビティとディスカッションがメインなので、他の授業とは一味違う。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
Sociology	社会学
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義型（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Hannah Crane
授業内容	社会学の基本を学ぶことができる。講義形式なので、ディスカッションは少なめ。
試験・課題など	試験が 5 回、毎週オンラインで予習課題がある。
感想を自由記入	講義型のため、ディスカッションをしたい人にはおすすしめない。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記 2 以降は記入不要）
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
リクナビ
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません） ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 （例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。） ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	座談会に初めて参加→留学先リサーチ→TOEFL 受験 一回目 志望動機書等の準備
	8月～9月	TOEFL 受験 二回目 (スコアを伸ばし留学校選択肢を増やすため)
	10月～12月	面接→留学先決定
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	予防接種、ビザ申請、航空券購入、必要書類の準備
	8月～9月	
	10月～12月	10月→中間試験 12月→期末試験準備 冬休みに一時帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	5月に期末試験
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

自分が勉強したい内容の授業が豊富だったため、留学先として選びました。また、留学生活で日本にいた時とは比べ物にならないほどの課題の量に苦勞したり、慣れない環境で大変なこともありましたが、友人と交友を深めたり、総じてとても貴重な体験をできたと思っています。この留学で、英語はもちろん、人としても成長することができたと思えます。これから先、こういった経験をするのはどんどん難しくなると思います。もし、少しでも留学をしたいと感じているならぜひ挑戦してみてください！応援しています！